

橋下代表 「核廃絶誰ができるか」 広島で発言

2012.11.10 23:48 日刊紙

日本維新の会代表の橋下徹大阪市長は10日、核兵器の廃絶について「現実には無理だ。（日本が）米国の核の傘の下に入ることは必要」との認識を示した。全国遊説先の広島市で記者団に述べた。

橋下氏は「日本は国連の安全保障理事会の理事国でも何でもない。日本は平和ぼけしすぎている。国際機関の中で無視されかけている中で、（核兵器の）廃絶といっても誰ができるのか。現実的な戦略を訴えないといけない」と指摘した。

また、「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則についても、「基本は堅持だが、『持ち込ませず』は日米安保条約で本当に可能なのか。（日本に基地を持つ）米軍の第7艦隊が核を持っていないなんてありえない。国民に開示して議論する必要がある」と話した。



JR福山駅前に集まった約1000人の聴衆に支持を呼びかける橋下徹代表
=広島県福山市で